

現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月2日	
NO	1
場所	敷地
部位	全景
	



令和5年2月2日	
NO	2
場所	敷地
部位	全景
	



令和5年2月2日	
NO	3
場所	仮設工事
部位	タワークレーン
<p>敷地東側部分のタワークレーンが設置されていることを確認。</p>	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月2日	
NO	4
場所	A B棟
部位	床付け状況



令和5年2月2日	
NO	5
場所	A X 9 (No. 55~56)
部位	地盤改良体

任意抽出箇所による地盤改良体の出来形の確認状況。



令和5年2月2日	
NO	6
場所	A X 9 (No. 55~56)
部位	地盤改良体

同上。No. 55~56の地盤改良体が、全長6,930mm（以上）として計画された位置に設置されていることを確認。



現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月2日	
NO	7
場所	A X 9 (No. 55~56)
部位	地盤改良体
同上。No. 55~56の地盤改良体の幅が計画通り (1,100mm) であることを確認。	




令和5年2月2日	
NO	8
場所	A X 6 (No. 61~62)
部位	地盤改良体
任意抽出箇所による地盤改良体の出来形の確認状況。	




令和5年2月2日	
NO	9
場所	A X 6 (No. 61~62)
部位	地盤改良体
同上。No. 61~62の地盤改良体が、全長7,830mm (以上) として計画された位置に設置されていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月2日	
NO	10
場所	A X 6 (No. 61~62)
部位	地盤改良体
同上。No. 61~62の地盤改良体の幅が計画通り (1,100mm) であることを確認。	




令和5年2月2日	
NO	11
場所	A X 5 (No. 63)
部位	地盤改良体
No. 63 改良体北側端部の部分では部分的に凹凸が生じている為、捨コンを打設する際には、凹部の上に土砂が載らないよう事前措置を行うことを確認。	




令和5年2月2日	
NO	12
場所	A X 5 (No. 63)
部位	地盤改良体
No. 63 改良体北側端部の出来形を確認。AY 4 通りの芯墨位置より+310mm以上である為、問題がないことを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月2日	
NO	13
場所	現場内基準レベル
部位	FL±0
現場内基準レベル (1FL±0) の盛替えに関しては、念の為、再度BM (ベンチマーク) からのレベルチェックを行うことを確認。	




令和5年2月2日	
NO	14
場所	A X 9 (No. 55~56)
部位	地盤改良体
地盤改良体の天端レベル確認状況。当該箇所はFL - 1, 523mmであることを確認。基礎底盤下部：FL - 1, 470mm+捨コン：-50mmである為、粗計画通りであると共に高止まりが生じていないことを確認。	




令和5年2月2日	
NO	15
場所	A X 6 (No. 61~62)
部位	地盤改良体
地盤改良体の天端レベル確認状況。当該箇所はFL-1, 575mmであることを確認。従って、過度な不足はないと共に、高止まりが生じていないことを確認。尚、捨コン天端に関しては約55mmの調整を行うことを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月2日	
NO	16
場所	AB棟
部位	捨コン打設状況
任意抽出箇所による捨コンの打設状況の確認。計画通りにFL - 1,470mm (基礎底盤レベル)として捨コンが打設されていることを確認。	
	



令和5年2月2日	
NO	17
場所	CD棟
部位	捨コン打設状況
同上。任意抽出箇所による捨コンの打設状況の確認。計画通りにFL - 1,470mm (基礎底盤レベル)として捨コンが打設されていることを確認。	
	



令和5年2月2日	
NO	18
場所	基礎梁(繋ぎ梁)下部
部位	砕石の敷設状況
基礎梁(繋ぎ梁)下部の砕石の敷設状況を確認。	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月2日	
NO	19
場所	基礎梁（繋ぎ梁）下部
部位	砕石の敷設状況
任意抽出箇所の砕石を掘削し、砕石の厚さが計画通り（100mm以上）であることを確認。	




令和5年2月2日	
NO	20
場所	基礎梁（繋ぎ梁）下部
部位	捨コン打設状況
捨コン厚さが計画通り（50mm以上）であることを確認。	




令和5年2月2日	
NO	21
場所	基礎フーチング下部
部位	捨コン打設状況
基礎フーチング幅（600mm）に対して、十分な範囲の捨コンが打設されていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月2日	
NO	22
場所	基礎梁（繋ぎ梁）下部
部位	捨コン打設状況
基礎梁（繋ぎ梁）幅（230mm）に対して、十分な範囲の捨コンが打設されていることを確認。	




令和5年2月2日	
NO	23
場所	鉄筋工事
部位	搬入資材
現場に搬入されている鉄筋が計画通り（JIS規格品：SD295）の製品であることを確認。	




令和5年2月2日	
NO	24
場所	鉄筋工事
部位	搬入資材
同上。	


